

各地の話題 利府町



2020年8月28日号掲載

名産の利府梨で町おこし

利府町では、秋になると、実が大きく甘いと評判の「利府梨」を求めて、県道沿いに立ち並ぶ梨直売所にお客様が足を運ぶ。



(左から) 近江貴之さんと吉川一利さん

利府梨の伝統と誇りに魅力を感じ、利府梨を盛り上げたいと地域おこし協力隊として着任した近江貴之さん（35）と吉川一利さん（31）は、離農した農家の梨畑を借りて梨農家を目指す。

近江さんは、梨を使った梨カレーを研究しており、その成果をイベントの場などで振る舞い、お客さんからの反応も上々だ。近江さんは、「梨の甘さと8種のスパイスで独自の味に仕上がった。利府梨のスパイスカレーを町の名物にしたい」と話す。

また、吉川さんは、昭和30年代に使われた梨の包装紙のデザインをリメイクし、そのデザインは町職員のポロシャツに採用されるなど、町名産のPRに貢献している。吉川さんは、「自分がリメイクしたデザインが採用されて嬉しい。利府梨を地域ブランドとしてさらに発展させたい」と話す。

これからの「利府梨」を背負っていく存在になると期待したい。



【記事提供：利府町農業委員会】